

タチウオ漁場分布調査 (タチウオ漁場開発調査)

大嶋洋行・新地勝秀*1

1. 目的

深海性タチウオの漁場拡大を図るため漁場分布を実施する。

2. 調査方法

調査はタチウオの主な分布域と考えられる水深300~400mの海域をあらかじめ海底地形図上で確認し、その範囲内を1マイルメッシュで区切り、このメッシュ内でタチウオの漁獲を確認する方法で行った。また、調査には漁船(名護漁協所属4.9t)を用船して実施した。漁法は一本釣りで漁具は前年度までと同様¹⁾とし、餌はサンマを用いた。なお、今年度の調査は沖縄島北部西方海域とし、調査時期は12月~3月に行った。

3. 結果と考察

沖縄島北部西方においてタチウオが分布するとみられる水深300~400mの海域は名護湾沖から伊江島西方及び北方、伊平屋、伊是名島周辺から沖縄島最北端の辺土岬にかけて広がっている。今年度はこのうち伊江島西方及び北方沖と辺土岬西方沖を中心に調査を実施した。なお、伊江島周辺については平成6年度³⁾から継続して実施しているので調査結果は合わせて報告する。

・名護湾沖から伊江島西方及び北方沖の調査結果
当該海域の調査結果は沖縄島北部西方海域タチウオ漁場調査結果(1)として図1に示した。

名護湾沖(N26°40'以南)の当該水深帯は島の

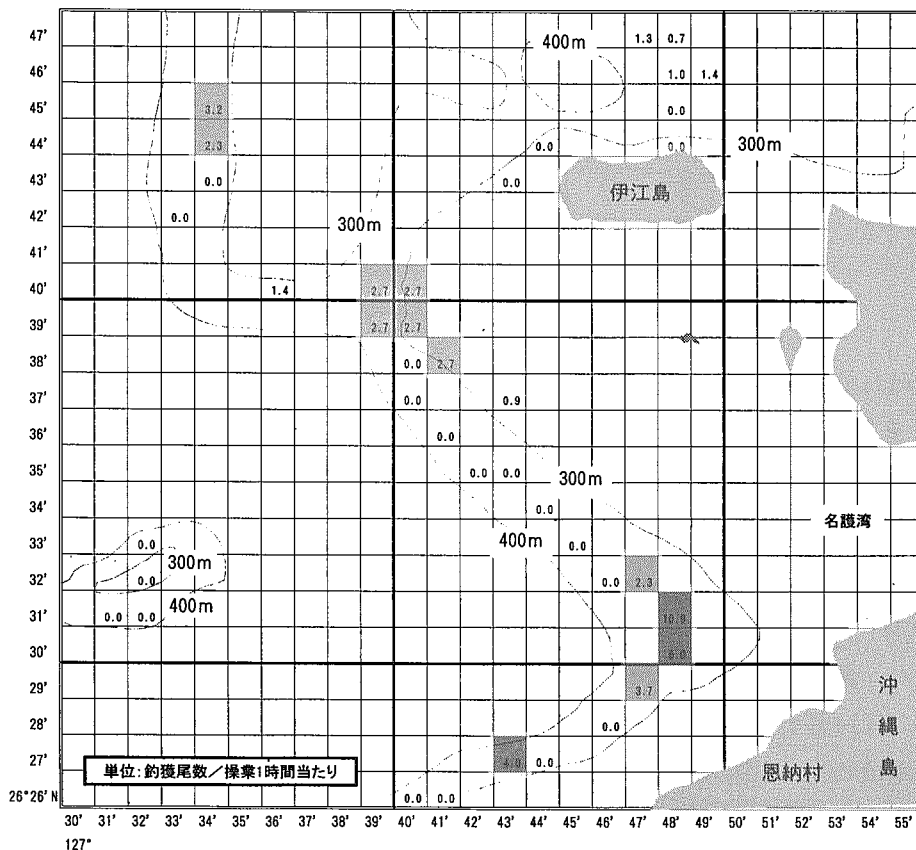


図1 沖縄島北部西方海域タチウオ漁場調査結果(1)

*1 : 非常勤職員

海岸線に沿った形で分布し、恩納村北で巾1マイル名護湾沖で巾3マイル前後となっている。この海域における漁獲調査はほぼ全域的に実施したが、漁獲があったのは恩納村西方沖、名護湾沖南部、伊江島南西沖で21の調査ポイント中9ポイントであった。操業1時間あたりの釣獲尾数をみると名護湾沖南部の一部で10.9、6.0と現在漁場となっている沖縄中部西方沖以上²⁾に好漁したポイントがあったものの全域的にみると良好な漁場となりうる海域は確認できなかった。

伊江島周辺海域 (N26° 40'以北) の当該水深帯は伊江島西方沖の浅海域周辺部 (巾1~2マイル) と北東側に広く分布する。この海域における調査ポイント数は15ポイントで全域を調査することははで

きなかった。この内漁獲が確認できたのは9ポイントであった。また、操業1時間あたりの釣獲尾数でみると特に好漁したポイントはなかった。

以上の結果から名護湾沖から伊江島西方及び北方におけるタチウオの漁場についてみると、漁獲のあったポイントは限られ良好な漁場となりうるのはごく限られた範囲であった。

タチウオ以外に漁獲された魚種は表1に示したが、伊江島西方沖でキビレアカレンコが僅かに漁獲された他はツノザメ類が漁獲されただけであった。

・辺土岬西方沖の調査結果

当該海域の調査結果は沖縄島北部西方海域タチウオ漁場調査結果(2)として図2に示した。

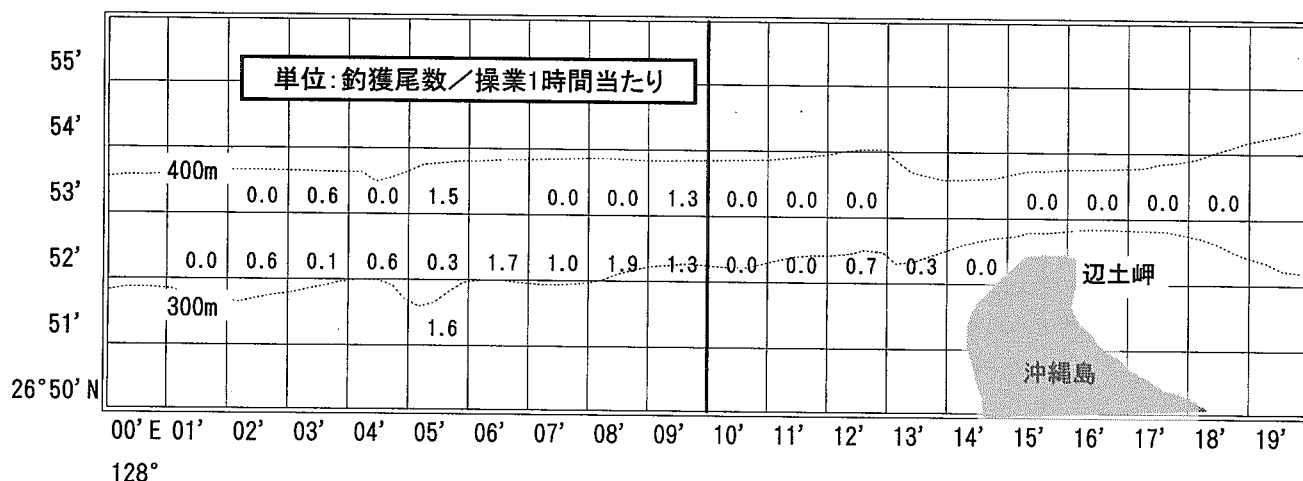


図2 沖縄島北部西方海域タチウオ漁場調査結果 (2)

辺土岬西方海域の当該水深帯は辺土岬北側で沖縄島に0.5マイルと最も接近しその東西に带状に分布する。その巾は2マイル前後で西方は伊平屋・伊是名島周辺へ続き、E128°以西は伊平屋・伊是名島周辺に沿って南北に広がる。

この海域 (E128° 以東) における漁獲調査はほぼ全域で実施した。調査ポイントは29ポイントで漁獲が確認できたのは14ポイントであった。操業1時間あたりの釣獲尾数は0.1~1.9と低かった。

以上、辺土岬西方沖においてはタチウオの分布は全域的にみられたが、好漁場と成りうる海域を確認するには至らなかった。

タチウオ以外に漁獲された魚種 (表1) はキビレアカレンコが多く、調査した海域全域的に漁獲があっ

た。その他はツノザメ類が多かったが、多く漁獲されたポイントは比較的狭い範囲 (N26°52'E128°5'~N26°53'E128°9') であった。

今年度は沖縄島北部西方海域のタチウオの漁場分布について調査したが、結果的に好漁場と成りうるポイントを確認することはできなかった。今回調査した海域はタチウオ漁業がほとんど行われていない海域であったが、名護湾沖の一部 (N26°37'E127°43') に漁場として利用されている海域が含まれている。ところが、この海域における今回の調査結果は操業1時間あたりの釣獲尾数は0.9と低かった。これはタチウオの主漁期が9月から11月であること、釣れる時間帯が限られている (漁業者からの聞き取り)

表1 調査時に漁獲されたタチウオ以外の魚種

緯度(N)	経度(E)	水深	魚種
名護湾～伊江島西方及び北方海域			
26°31'	127°48'	355～358	ツノザメsp. 1尾
26°32'	127°47'	341～345	ツノザメsp. 1尾
26°33'	127°45'	359～364	ツノザメsp. 1尾
26°35'	127°43'	356	ツノザメsp. 1尾
26°38'	127°41'	336～328	ツノザメsp. 3尾
26°44'	127°34'	370～328	ツノザメsp. 3尾
26°43'	127°34'	334～336	キビレアカレンコ 1尾 ツノザメsp. 2尾
26°42'	127°33'	283～265	キビレアカレンコ 1尾
26°44'	127°48'	394～392	フトツノザメ 3尾
26°46'	127°49'	383～380	フトツノザメ 7尾
26°46'	127°48'	383～381	フトツノザメ 4尾
26°53'	128°11'	389～437	フトツノザメ 2尾
26°52'	128°11'	297～368	フトツノザメ 1尾
26°52'	128°12'	322～342	キビレアカレンコ 2尾 ワニエソ 1尾
26°53'	128°17'	332～285	ワニエソ 1尾
26°53'	128°17'	325～321	キビレアカレンコ 1尾
26°53'	128°17'	305～295	キビレアカレンコ 1尾
26°53'	128° 2'	348～315	キビレアカレンコ 2尾
26°53'	128° 2'	368～345	ヨリトフグ 2尾 キビレアカレンコ 1尾
26°53'	128° 4'	368～318	キビレアカレンコ 1尾
26°53'	128° 3'	366～334	キビレアカレンコ 2尾 ヨリトフグ 1尾
26°53'	128° 5'	381～370	ツノザメsp. 1尾
26°52'	128° 5'	379～374	ツノザメsp. 1尾
辺土岬西方海域			
26°52'	128° 5'	354～369	キビレアカレンコ 1尾 ツノザメsp. 1尾
26°52'	128° 6'	324～340	ヨリトフグ 1尾
26°52'	128° 6'	347～370	キビレアカレンコ 1尾
26°52'	128° 7'	344～357	ヨリトフグ 1尾
26°52'	128° 8'	324～333	キビレアカレンコ 1尾
26°53'	128° 8'	356～353	ハマダイ 1尾 カサゴsp. 1尾
26°52'	128° 6'	377～362	フトツノザメ 18尾 ギンメダイ 1尾
26°53'	128° 7'	387～381	フトツノザメ 4尾
26°52'	128° 8'	325～318	キビレアカレンコ 1尾
26°53'	128° 9'	340～349	フトツノザメ 1尾
26°52'	128°10'	301～314	キビレアカレンコ 1尾

ことがあったためと考えられる。しかし、今回調査した海域においては多かれ少なかれタチウオの分布は確認できたので本調査をもとに調査の時期、調査の時間帯を考慮した調査を行えば好漁場が発見でき

る可能性はあると考える。

参考文献

- (1) 大嶋洋行 (1995) : タチウオ漁場調査 (漁業資源開発調査). 沖縄県水産試験場事業報告書 (平成5年度). 3-5.
- (2) 大嶋洋行・外間 実 (1996) : タチウオ漁場調査 (漁業資源開発調査). 沖縄県水産試験場事業報告書 (平成6年度). 14-18.
- (3) 大嶋洋行・外間 実 (1997) : タチウオ漁場調査 (漁業資源開発調査). 沖縄県水産試験場事業報告書 (平成7年度). 45-49.